

# インドネシア高校生が来日！

2013年9月3日から12日までの10日間の日程で、インドネシア高校生が来日しました。高校生達は、日本の高校生との交流やホームステイ、国会議事堂訪問等を経て、すっかり日本ファンとなって帰国の途に着きました。

日本滞在3日目の9月5日、インドネシア高校生達は東京都立青梅総合高等学校を訪問。同校の永村隆校長先生から「短い時間の中ではありますが、しっかりと文化交流をして、色々なことを学んでください」と歓迎を受けました。日本の高校生との交流では、「いただきます」と「ごちそうさま」の意味について説明を受けたり、梅干しやお寿司等、日本の食べ物について紹介されたりしました。インドネシア高校生達は漫画・

アニメはじめ、日本の文化に興味津々の様で、剣道について、漢字について、コスプレについて等々、日本の高校生に次々と質問を投げかけていました。

午後には、和太鼓部の活動を見学。和太鼓の演奏を鑑賞・体験した後、インドネシアのダンスと一緒に踊ったり、プレゼント交換を行ったりと、交流を深めました。大盛り上がりを見せた1日の終わりには、名残惜しそうに連絡先を交換する高校生達の姿が見られました。



「日本の女子高生は何でスカートを短くするの?」- 高校生達は身近な疑問・質問から文化の違いについて学んでいる様でした。



和太鼓とダンスを通じた交流は、エンドレスで続くかのような大盛り上がりを見せました。

9月6～8日には、日本の家庭でホームステイを経験。英語でのコミュニケーションを通じて日本の家庭生活に触れた高校生達は「日本のことが大好きになった」「日本語を勉強してまた日本に来たい」と口々に話していました。滞在最終日の9月12日には、国立オリンピック記念青少年総合センターで、AIM・ジャパン主催の歓送会

が行われ、高校生達はホームステイファミリーやAIM・ジャパン役職員とともに「東京音頭」やインドネシアのダンス「ポチョボチョ」を踊り、最後の思い出づくりをしました。日本のいいところ、よくないところ、インドネシアと異なるところ…2週間のうちに様々なことを経験したインドネシア高校生達は、笑顔で母国へ帰っていきました。

